

生命環境科学研究科 生物科学専攻前期（博士前期課程）

共通科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AA007	生物科学オムニバス特講	1	1.0	1・2	秋A	集中		阿部 訓也, 上田 太郎, 大西 和夫, 小林 正智, 野崎 智義, 細谷 昌樹, 井澤 毅, 加藤 薫, 栗崎 晃, 設楽 浩志, 永宗 喜三郎, 廣瀬 恵子	生物科学専攻担当の全連携大学院教員によるオムニバス方式の集中講義である。それぞれの教員が得た研究成果に基づいた生物学の最先端研究について紹介するとともに、それらの研究の意義や研究法の原理と応用等について講義する。	02AU002と同一。
01AA008	サイエンスプレゼンテーション	4	2.0	1	春AB秋AB	火4		ウッド マシュー クリストファー	This course aims to prepare students to communicate research results or other scientific information in public. After an introduction to the fundamentals of effective communication, the course covers the process of making a scientific presentation and a scientific poster in English, including preparation, slides, charts, diagrams, design, and the use of voice. The course concludes with students making a presentation of their research to an actual audience.	必修
01AA009	サイエンスプレゼンテーション	4	2.0	1	通年	集中		ウッド マシュー クリストファー	This course aims to prepare students to communicate research results or other scientific information in public. After an introduction to the fundamentals of effective communication, the course covers the process of making a scientific presentation and a scientific poster in English, including preparation, slides, charts, diagrams, design, and the use of voice. The course concludes with students making a presentation of their research to an actual audience.	必修 01AA008と同一内容の集中講義。重複履修不可。
01AA010	サイエンスコミュニケーション特講	4	1.0	1・2	通年	集中		ウッド マシュー クリストファー	This course focuses on the role of communication in the complex relationship between science and society. It traces the development of science communication, examines case studies, and looks at the practices, relevance and importance of science communication in the modern world.	
01AA011	先端生物科学セミナー	1	2.0	1	通年	水6	2B409	中田 和人	生物学研究の面白さを実感できるよう、毎回各分野におけるホットな研究内容を取りあげて、生物学研究の現状と将来展望についての理解力を養う。	必修
01AA018	節足動物学野外実習	3	1.0	1・2	春C	集中	菅平	町田 龍一郎	節足動物は動物既知種の80%を含む、地球上で最も繁栄している動物である。本実習は、この節足動物を対象として、講義ならびに実際の野外観察・採集・標本作製を行うことにより、この動物群の分類・系統・形態などの基礎的知識を得、方法を習得することを目的とする。あわせて系統分類学の実験を学ぶ。	
01AA020	マリンポストゲノム解析実習	6	1.0	1・2	秋AB	集中	下田臨海実験センター	稲葉 一男, 笹倉 靖徳	海産無脊椎動物であるホヤを用いて、ポストゲノム研究に必須であるプロテオミクス解析の原理を学び、その手法を習得する。また、ホヤの突然変異体を扱うことを通じて、遺伝子機能の解析に必要な分子生物学・遺伝学の知識と技術を学ぶ。本科目には遺伝子組換え実験を含む。	公開臨海実習に応募必要 11/16-11/21
01AA021	マリンバイオフィールド実習	3	1.0	1・2	秋AB	集中	下田臨海実験センター	今 孝悦, 和田 茂樹	潮間帯の生物群集の生態や沿岸物質循環におけるプランクトン群集を知ることが目的とし、潮間帯の踏査や船舶を使った彩水調査などを行う。	公開臨海実習に応募必要 10/13-10/16
01AA022	マリン比較ゲノム科学演習	2	1.0	1・2	春A	集中	下田臨海実験センター	笹倉 靖徳, 谷口 俊介, 中野 裕昭, 堀江 健生	海産生物を中心とした生物多様性の概念を解説するとともに、ゲノム解析や特定の遺伝子の構造、機能に関する比較解析を通して、生物の成り立ちと進化を考察する。	
01AA023	マリン分子循環生態学演習	6	1.0	1・2	通年	集中	下田臨海実験センター	濱 健夫	海洋、陸水、森林など地球を構成する主要な環境に生息する生物の生態と多種生物間の相互作用、炭素循環等の環境と生物の関わりについて考察する。	
01AA024	マリンバイオリソース学演習	6	1.0	1・2	通年	集中	下田臨海実験センター	齊藤 康典, 石田 健一郎	海産生物を中心に、多様な生物の体制や生理機能について紹介するとともに、これらの生物が生命科学の研究において果たしてきた役割、これからの生命科学や産業において期待されるリソースとしての特徴について解説する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AA025	マリンバイオインフォマティクス演習	6	1.0	1・2	通年	集中	下田臨海実験センター	稲葉 一男, 柴 小菊	海洋生物の多様性を考える上で必須なツールである分子系統樹の作成法や相同生検索などを、実際の作業を通して身につける。また、各種データベースの紹介や、それらの使用法について解説する。	
01AA026	サイエンスメディアエーション実践I (インターンシップ)	3	1.0	1・2	通年	応談		中田 和人	教育機関、官公庁、非営利団体、企業等において、科学メディアエーションに関連した業務(科学教育、科学コミュニケーション、広報、イベント、技術移転、知財管理等)に携わることにより、科学に携わる者として必要な能力の向上を図るとともに、将来の進路選択に役立てる。事前にインターンシップ実施計画書を提出する。	
01AA027	サイエンスメディアエーション実践II(インターンシップ)	3	1.0	1・2	通年	応談		中田 和人	教育機関、官公庁、非営利団体、企業等において、科学メディアエーションに関連した業務(科学教育、科学コミュニケーション、広報、イベント、技術移転、知財管理等)に携わることにより、科学に携わる者として必要な能力の向上を図るとともに、将来の進路選択に役立てる。事前にインターンシップ実施計画書を提出する。	
01AA028	サイエンスメディアエーション実践III(インターンシップ)	3	1.0	1・2	通年	応談		中田 和人	教育機関、官公庁、非営利団体、企業等において、科学メディアエーションに関連した業務(科学教育、科学コミュニケーション、広報、イベント、技術移転、知財管理等)に携わることにより、科学に携わる者として必要な能力の向上を図るとともに、将来の進路選択に役立てる。事前にインターンシップ実施計画書を提出する。	
01AA029	サイエンスメディアエーション実践IV(インターンシップ)	3	1.0	1・2	通年	応談		中田 和人	教育機関、官公庁、非営利団体、企業等において、科学メディアエーションに関連した業務(科学教育、科学コミュニケーション、広報、イベント、技術移転、知財管理等)に携わることにより、科学に携わる者として必要な能力の向上を図るとともに、将来の進路選択に役立てる。事前にインターンシップ実施計画書を提出する。	
01AA030	生物科学概論I	1	3.0	1	通年	水5	2B409	中田 和人	生物科学専攻の教員でのオムニバス形式で、分子生物学および進化生物学の教科書を参照しながら、教員の専門分野に関する講義を行う。分子生物学や進化生物学の基礎的な知識に関して復習しながら、先端的な研究の実例も交えて、生物学の幅広い知識を得る。Nature, Science, Current Biology, PNASなどで報告される最先端の研究成果に関して、専門分野以外の論文でも読みこなせるだけの素養を身に付ける。	
01AA031	生物科学概論II	1	3.0	2	通年	水5	2B409	中田 和人	生物科学専攻の教員でのオムニバス形式で、分子生物学および進化生物学の教科書を参照しながら、教員の専門分野に関する講義を行う。分子生物学や進化生物学の基礎的な知識に関して復習しながら、先端的な研究の実例も交えて、生物学の幅広い知識を得る。Nature, Science, Current Biology, PNASなどで報告される最先端の研究成果に関して、専門分野以外の論文でも読みこなせるだけの素養を身に付ける。	
01AA032	サイエンスコミュニケーション特論	1	1.0	1・2	通年	集中		渡辺 政隆	現代社会は科学技術の恩恵なくして成り立たない。科学技術はわれわれの生活に深く根ざしており、よりよい社会を築いていくためには一人でも多くの人が科学技術との付き合い方に関心を向けることで、社会全体として科学技術をうまく活用していく必要がある。そのためには様々な立場から科学技術についてのコミュニケーションをしようことで科学技術を身近な文化として定着させ、社会全体の意識を高める必要がある。このような問題意識から登場したのがサイエンスコミュニケーションという理念である。この理念が登場した背景を知ると同時に、方法論としてはどのようなものがあるのかを議論しつつ、コミュニケーションスキルの向上も目指す。	
01AA041	生物科学特講I	1	1.0	1・2						西暦偶数年度開講。
01AA042	生物科学特講II	1	1.0	1・2						西暦偶数年度開講。
01AA043	生物科学特講III	1	1.0	1・2						西暦偶数年度開講。
01AA044	生物科学特講IV	1	1.0	1・2						西暦偶数年度開講。
01AA045	生物科学特講V	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中		中田 和人		西暦奇数年度開講。 9/25-9/26
01AA046	生物科学特講VI	1	1.0	1・2	通年	集中		中田 和人		西暦奇数年度開講。
01AA047	生物科学特講VII	1	1.0	1・2	通年	集中		中田 和人		西暦奇数年度開講。
01AA048	生物科学特講VIII	1	1.0	1・2	通年	集中		中田 和人		西暦奇数年度開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AA049	大規模分子系統解析概論	4	1.0	1・2	通年	集中		橋本 哲男, 稲垣 祐司	シーケンス技術の発達により蓄積されたゲノム、トランスクリプトームデータを基盤とした大規模分子系統解析と、それに関連する技術と知識について最新の知見を紹介する。また、受講者が実際に大規模データを解析するため、先行研究における解析手法・結果について精査し、その問題点などを整理・議論する。	
01AA050	比較オミックス解析概論	4	1.0	1・2	通年	集中		稲垣 祐司	遺伝子、転写産物、タンパク質、代謝産物を対象としたオミックスの観点から生物種の普遍性、特異性ならびに多様性を把握することの意義を紹介する。さらに、オミックスを駆使した先駆的な研究を紹介することで、その活用の実際や発展性などに関して議論する。	
01AA051	プロテオーム演習	7	1.0	1・2	通年	集中		中田 和人, 千葉 智樹, 鶴田 文憲, 石川 香	生物における機能的なタンパク質群の特性やプロテオームの基礎に関する講義を行う。また、プロテオームを駆使した先駆的な研究例を紹介し、その意義や発展性などを議論する。	
01AA052	バイオインフォマティクス演習	7	1.0	1・2	通年	集中		和田 洋	生物におけるゲノムデータ、トランスクリプトームデータの大規模解析の基礎に関する講義を行う。また、インフォマティクス技術を駆使した先駆的な研究例を紹介し、その意義や発展性などを議論する。	
01AA053	バイオイメージング演習	7	1.0	1・2	通年	集中		石田 健一郎, 平川 泰久	バイオイメージングの基礎原理と活用法に関する講義を行い、バイオイメージングの応用技術を学ぶための研究論文読解を行う。また、共焦点レーザー顕微鏡と透過型電子顕微鏡を使用した実技演習も行う。	
01AA054	生物科学特講IX	1	1.0	1・2	通年	集中		中田 和人		西暦奇数年度開講。

専門科目 (平成27年度以降)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AE221	系統分類・進化学セミナーAI	2	1.5	1	春学期	応談		石田 健一郎, 桑原 朋彦, 出川 洋介, 中野 裕昭, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋	分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミックス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などに基づき、生物の進化・多様性や生物分類を論じた論文をプレゼン形式等で紹介し、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE222	系統分類・進化学セミナーAII	2	1.5	1	秋学期	応談		石田 健一郎, 桑原 朋彦, 出川 洋介, 中野 裕昭, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋	分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミックス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などに基づき、生物の進化・多様性や生物分類を論じた論文をプレゼン形式等で紹介し、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE225	系統分類・進化学研究法AI	7	3.0	1	春学期	応談		石田 健一郎, 桑原 朋彦, 出川 洋介, 中野 裕昭, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋	各報告者は、分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミックス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などの系統分類・進化学的データを取得した方法について解説し、実際の実験・観察結果から結論を得る問題点を抽出した過程について報告する。報告内容に関して参加学生・教員全員で議論し、研究手法や結論の妥当性、問題点について吟味し、今後の研究の進め方等を検討する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE226	系統分類・進化学研究法AII	7	3.0	1	秋学期	応談		石田 健一郎, 桑原 朋彦, 出川 洋介, 中野 裕昭, 本多 正尚, 町田 龍一郎, 和田 洋	各報告者は、分子系統解析、個体発生解析、細胞機能・構造解析、オミックス解析、分子機能解析、形態比較、行動解析などの系統分類・進化学的データを取得した方法について解説し、実際の実験・観察結果から結論を得る問題点を抽出した過程について報告する。報告内容に関して参加学生・教員全員で議論し、研究手法や結論の妥当性、問題点について吟味し、今後の研究の進め方等を検討する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE231	生態学セミナーAI	2	1.5	1	春学期	応談		徳永 幸彦, 大橋 一晴, 今 孝悦, 鈴木 亮, 田中 健太, 濱 健夫, 廣田 充, 渡邊 守, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ	実験生態学や野外生態学、理論生態学の手法に基づき、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験・観察手法、および実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE232	生態学セミナーAII	2	1.5	1	秋学期	応談		徳永 幸彦, 大橋 一晴, 今 孝悦, 鈴木 亮, 田中 健太, 濱 健夫, 廣田 充, 渡邊 守, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ	実験生態学や野外生態学、理論生態学の手法に基づき、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験・観察手法、および実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AE235	生態学研究法AI	7	3.0	1	春学期	応談		徳永 幸彦, 大橋一晴, 今 孝悦, 鈴木 亮, 田中 健太, 濱 健夫, 廣田 充, 渡邊 守, 和田 茂樹, アゴスティーニ シルバン, レオナー ジョージ	各報告者は、実験生態学や野外生態学、理論生態学の手法に基づきデータを取得する方法や、得られたデータを解析する方法について解説し、実際の実験・観察結果から結論を得て問題点を抽出した過程について報告する。報告内容に関して参加学生・教員全員で議論し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE236	生態学研究法AII	7	3.0	1	秋学期	応談		徳永 幸彦, 大橋一晴, 今 孝悦, 鈴木 亮, 田中 健太, 濱 健夫, 廣田 充, 渡邊 守, 和田 茂樹, アゴスティーニ シルバン, レオナー ジョージ	各報告者は、実験生態学や野外生態学、理論生態学の手法に基づきデータを取得する方法や、得られたデータを解析する方法について解説し、実際の実験・観察結果から結論を得て問題点を抽出した過程について報告する。報告内容に関して参加学生・教員全員で議論し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE241	植物発生・生理学セミナーAI	2	1.5	1	春学期	応談		小野 道之, 小口 太一, 菊池 彰, 鈴木 石根, 渡邊 和男	植物発生・生理学に関わる論文を読み、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。発表者以外の受講生は提示された情報から、疑問点、問題点等を見出し、発表者に向けて質問を行う事により、発表者との議論を深める。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE242	植物発生・生理学セミナーAII	2	1.5	1	秋学期	応談		小野 道之, 小口 太一, 菊池 彰, 鈴木 石根, 渡邊 和男	植物発生・生理学に関わる論文を読み、論文中に記述されている実験・観察手法、結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。発表者以外の受講生は提示された情報から、疑問点、問題点等を見出し、発表者に向けて質問を行う事により、発表者との議論を深める。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE245	植物発生・生理学研究法AI	7	3.0	1	春学期	応談		小野 道之, 小口 太一, 菊池 彰, 鈴木 石根, 渡邊 和男	各報告者は、自身の研究において、生理学的解析、分子生物学的解析をはじめとするさまざまな手法や得られたデータを解析する方法を解説し実際の実験・観察から結論を得て問題点を抽出する過程について報告する。報告内容に関して、発表者以外の受講生・教員全員で議論し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE246	植物発生・生理学研究法AII	7	3.0	1	秋学期	応談		小野 道之, 小口 太一, 菊池 彰, 鈴木 石根, 渡邊 和男	各報告者は、自身の研究において、生理学的解析、分子生物学的解析をはじめとするさまざまな手法や得られたデータを解析する方法を解説し実際の実験・観察から結論を得て問題点を抽出する過程について報告する。報告内容に関して、発表者以外の受講生・教員全員で議論し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE251	動物発生・生理学セミナーAI	2	1.5	1	春学期	応談		古久保 徳永 克男, 大網 一則, 齊藤 康典, 櫻井 啓輔, 笹倉 靖徳, 千葉 親文, 中谷 敬, 丹羽 隆介, 堀江 健生, 丸尾 文昭, 谷口 俊介	分子レベル、細胞レベル、および個体レベルの観点から動物の発生現象あるいは生理現象を論じた論文を読み、論文中に記載されている実験の手法と実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、結果の新規性と今後に残された問題点、そして将来の研究の方向性を議論する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE252	動物発生・生理学セミナーAII	2	1.5	1	秋学期	応談		古久保 徳永 克男, 大網 一則, 齊藤 康典, 櫻井 啓輔, 笹倉 靖徳, 千葉 親文, 中谷 敬, 丹羽 隆介, 堀江 健生, 丸尾 文昭, 谷口 俊介	分子レベル、細胞レベル、および個体レベルの観点から動物の発生現象あるいは生理現象を論じた論文を読み、論文中に記載されている実験の手法と実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、結果の新規性と今後に残された問題点、そして将来の研究の方向性を議論する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE255	動物発生・生理学研究法AI	7	3.0	1	春学期	応談		古久保 徳永 克男, 大網 一則, 齊藤 康典, 櫻井 啓輔, 笹倉 靖徳, 千葉 親文, 中谷 敬, 丹羽 隆介, 堀江 健生, 丸尾 文昭, 谷口 俊介	各報告者は、動物発生・生理学分野における各人の研究課題に対して、分子生物学的解析、遺伝学的解析、生化学的解析、生理学的解析、各種オミクス解析などに基づきデータを取得する方法や、得られたデータを解析する方法について説明を行う。また、実際の実験と観察の過程で得られた結果から、結論を得て問題点を明らかにした過程について報告する。報告内容に関して、参加学生と教員が全員で討議し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AE256	動物発生・生理学研究法AII	7	3.0	1	秋学期	応談		古久保 一徳永 克男, 大網 一則, 齊藤 康典, 櫻井 啓輔, 笹倉 靖徳, 千葉 親文, 中谷 敬, 丹羽 隆介, 堀江 健生, 丸尾 文昭, 谷口 俊介	各報告者は、動物発生・生理学分野における各人の研究課題に対して、分子生物学的解析、遺伝学的解析、生化学的解析、生理学的解析、各種オミクス解析などに基づきデータを取得する方法や、得られたデータを解析する方法について説明を行う。また、実際の実験と観察の過程で得られた結果から、結論を得て問題点を明らかにした過程について報告する。報告内容に関して、参加学生と教員が全員で討議し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE261	分子細胞生物学セミナーAI	2	1.5	1	春学期	応談		中田 和人, 石川 香, 稲葉 一男, 坂本 和一, 柴 小菊, 白岩 善博, 千葉 智樹, 鶴田 文憲, 中野 賢太郎, 沼田 治, 平川 泰久, 三浦 謙治, 宮村 新一	分子生物学及び細胞生物学に関する最新の学術論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点の討論を行う。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE262	分子細胞生物学セミナーAII	2	1.5	1	秋学期	応談		中田 和人, 石川 香, 稲葉 一男, 坂本 和一, 柴 小菊, 白岩 善博, 千葉 智樹, 鶴田 文憲, 中野 賢太郎, 沼田 治, 平川 泰久, 三浦 謙治, 宮村 新一	分子生物学及び細胞生物学に関する最新の学術論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点の討論を行う。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE265	分子細胞生物学研究法AI	7	3.0	1	春学期	応談		中田 和人, 石川 香, 稲葉 一男, 坂本 和一, 柴 小菊, 白岩 善博, 千葉 智樹, 鶴田 文憲, 中野 賢太郎, 沼田 治, 平川 泰久, 三浦 謙治, 宮村 新一	各報告者は、分子生物学的・細胞生物学的解析などに基づきデータを取得する方法や、得られたデータを解析する方法について解説し、実際の実験・観察結果から結論を得て問題点を抽出した過程について報告する。報告内容に関して参加学生・教員全員で議論し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE266	分子細胞生物学研究法AII	7	3.0	1	秋学期	応談		中田 和人, 石川 香, 稲葉 一男, 坂本 和一, 柴 小菊, 白岩 善博, 千葉 智樹, 鶴田 文憲, 中野 賢太郎, 沼田 治, 平川 泰久, 三浦 謙治, 宮村 新一	各報告者は、分子生物学的・細胞生物学的解析などに基づきデータを取得する方法や、得られたデータを解析する方法について解説し、実際の実験・観察結果から結論を得て問題点を抽出した過程について報告する。報告内容に関して参加学生・教員全員で議論し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE271	ゲノム情報学セミナーAI	2	1.5	1	春学期	応談		橋本 哲男, 伊藤 希, 稲垣 祐司, 桑山 秀一, 澤村 京一, 千葉 洋子, 中村 幸治	遺伝学的解析やオミクス解析に基づき細胞構造、分子機能、進化多様性などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE272	ゲノム情報学セミナーAII	2	1.5	1	秋学期	応談		橋本 哲男, 伊藤 希, 稲垣 祐司, 桑山 秀一, 澤村 京一, 千葉 洋子, 中村 幸治	遺伝学的解析やオミクス解析に基づき細胞構造、分子機能、進化多様性などを論じた論文を読み、論文中に記述されている実験手法、実験結果から結論が導かれる過程を吟味し、新規性と問題点を議論する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE275	ゲノム情報学研究法AI	7	3.0	1	春学期	応談		橋本 哲男, 伊藤 希, 稲垣 祐司, 桑山 秀一, 澤村 京一, 千葉 洋子, 中村 幸治	各報告者は、遺伝学的解析、生化学・分子生物学的解析、オミクス解析などに基づきデータを取得する方法や、得られたデータを解析する方法について解説し、実際の実験・観察結果から結論を得て問題点を抽出した過程について報告する。報告内容に関して参加学生・教員全員で議論し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE276	ゲノム情報学研究法AII	7	3.0	1	秋学期	応談		橋本 哲男, 伊藤 希, 稲垣 祐司, 桑山 秀一, 澤村 京一, 千葉 洋子, 中村 幸治	各報告者は、遺伝学的解析、生化学・分子生物学的解析、オミクス解析などに基づきデータを取得する方法や、得られたデータを解析する方法について解説し、実際の実験・観察結果から結論を得て問題点を抽出した過程について報告する。報告内容に関して参加学生・教員全員で議論し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AE285	先端細胞生物科学研究法AI	7	3.0	1	春学期	応談		阿部 訓也, 上田 太郎, 大西 和夫, 加藤 薫, 栗崎 晃, 設楽 浩志, 永宗 喜三郎, 野崎 智義, 廣瀬 恵子	各報告者は、多様な生物種を材料とした先端研究分野における各人の研究課題に対して、分子生物学的解析、遺伝学的解析、生化学的解析、生理学的解析、各種オミクス解析などに基づきデータを取得する方法や、得られたデータを解析する方法について説明を行う。また、実際の実験と観察の過程で得られた結果から、結論を得て問題点を明らかにした過程について報告する。報告内容に関して、参加学生と教員が全員で討議し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AE286	先端細胞生物科学研究法AII	7	3.0	1	秋学期	応談		阿部 訓也, 上田 太郎, 大西 和夫, 加藤 薫, 栗崎 晃, 設楽 浩志, 永宗 喜三郎, 野崎 智義, 廣瀬 恵子	各報告者は、多様な生物種を材料とした先端研究分野における各人の研究課題に対して、分子生物学的解析、遺伝学的解析、生化学的解析、生理学的解析、各種オミクス解析などに基づきデータを取得する方法や、得られたデータを解析する方法について説明を行う。また、実際の実験と観察の過程で得られた結果から、結論を得て問題点を明らかにした過程について報告する。報告内容に関して、参加学生と教員が全員で討議し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AE295	先端分子生物科学研究法AI	7	3.0	1	春学期	応談		井澤 毅, 小林 正智, 細谷 昌樹	各報告者は、産業技術への応用を視野に入れた先端研究分野における各人の研究課題に対して、分子生物学的解析、遺伝学的解析、生化学的解析、生理学的解析、各種オミクス解析などに基づきデータを取得する方法や、得られたデータを解析する方法について説明を行う。また、実際の実験と観察の過程で得られた結果から、結論を得て問題点を明らかにした過程について報告する。報告内容に関して、参加学生と教員が全員で討議し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AE296	先端分子生物科学研究法AII	7	3.0	1	秋学期	応談		井澤 毅, 小林 正智, 細谷 昌樹	各報告者は、産業技術への応用を視野に入れた先端研究分野における各人の研究課題に対して、分子生物学的解析、遺伝学的解析、生化学的解析、生理学的解析、各種オミクス解析などに基づきデータを取得する方法や、得られたデータを解析する方法について説明を行う。また、実際の実験と観察の過程で得られた結果から、結論を得て問題点を明らかにした過程について報告する。報告内容に関して、参加学生と教員が全員で討議し、結論の妥当性や問題点について吟味し、今後の方策を検討する。	平成27年度以降の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能

専門科目(平成26年度以前)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AE117	植物系統分類学セミナーAI	2	1.0	1	春AB	応談	研究室	石田 健一郎, 出川 洋介, 平川 泰久	植物系統分類学について問題提起を行い、関連する文献の収集と講読を通して論文の構成と研究の流れを理解するよう指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE118	植物系統分類学セミナーAII	2	1.0	1	秋AB	応談	研究室	石田 健一郎, 出川 洋介, 平川 泰久	植物系統分類学について問題提起を行い、関連する文献の収集と講読を通して論文の構成と研究の流れを理解するよう指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE119	植物系統分類学セミナーAIII	2	1.0	1	秋C	応談	研究室	石田 健一郎, 出川 洋介, 平川 泰久	植物系統分類学について問題提起を行い、関連する文献の収集と講読を通して論文の構成と研究の流れを理解するよう指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE121	植物系統分類学セミナーBI	2	1.0	2	春AB	応談	研究室	石田 健一郎, 出川 洋介, 平川 泰久	植物系統分類学の既存研究を整理統合することにより研究の現状を理解するよう指導する。また植物命名規約における主要な規則を理解させ、また最新の変更点を把握できるように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE122	植物系統分類学セミナーBII	2	1.0	2	秋AB	応談	研究室	石田 健一郎, 出川 洋介, 平川 泰久	植物系統分類学の既存研究を整理統合することにより研究の現状を理解するよう指導する。また植物命名規約における主要な規則を理解させ、また最新の変更点を把握できるように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE123	植物系統分類学セミナーBIII	2	1.0	2	春C	応談	研究室	石田 健一郎, 出川 洋介, 平川 泰久	植物系統分類学の既存研究を整理統合することにより研究の現状を理解するよう指導する。また植物命名規約における主要な規則を理解させ、また最新の変更点を把握できるように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE124	植物系統分類学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	石田 健一郎, 出川 洋介, 平川 泰久	多様な植物群の系統関係の解析のために必要な研究方法について解説し、実験、観察結果から結論と問題点を抽出する過程を具体的な研究指導を通して指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE125	植物系統分類学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	石田 健一郎, 出川 洋介, 平川 泰久	多様な植物群の系統関係の解析のために必要な研究方法について解説し、実験、観察結果から結論と問題点を抽出する過程を具体的な研究指導を通して指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE126	植物系統分類学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	石田 健一郎, 出川 洋介, 平川 泰久	多様な植物群の系統関係の解析のために必要な研究方法について解説し、実験、観察結果から結論と問題点を抽出する過程を具体的な研究指導を通して指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AE127	植物系統分類学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	石田 健一郎, 出川 洋介, 平川 泰久	植物系統分類学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE128	植物系統分類学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	石田 健一郎, 出川 洋介, 平川 泰久	植物系統分類学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE129	植物系統分類学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	石田 健一郎, 出川 洋介, 平川 泰久	植物系統分類学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE137	動物系統分類学セミナーAI	2	1.0	1	春AB	応談	研究室	町田 龍一郎, 和田 洋, 本多 正尚	動物界を構成する多様な分類群間の系統関係の解析について、必要な基本的概念を提示するとともに、具体的な研究例を取り上げて討論する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE138	動物系統分類学セミナーAII	2	1.0	1	秋AB	応談	研究室	町田 龍一郎, 和田 洋, 本多 正尚	動物界を構成する多様な分類群間の系統関係の解析について、必要な基本的概念を提示するとともに、具体的な研究例を取り上げて討論する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE139	動物系統分類学セミナーAIII	2	1.0	1	秋C	応談	研究室	町田 龍一郎, 和田 洋, 本多 正尚	動物界を構成する多様な分類群間の系統関係の解析について、必要な基本的概念を提示するとともに、具体的な研究例を取り上げて討論する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE141	動物系統分類学セミナーBI	2	1.0	2	春AB	応談	研究室	町田 龍一郎, 和田 洋, 本多 正尚	動物界を構成する多様な分類群間の系統関係の解析について、実験の方法や考え方の有用性と限界、新しい方法や視点の開発などにつき、具体的な研究例をとり上げて討論する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE142	動物系統分類学セミナーBII	2	1.0	2	秋AB	応談	研究室	町田 龍一郎, 和田 洋, 本多 正尚	動物界を構成する多様な分類群間の系統関係の解析について、実験の方法や考え方の有用性と限界、新しい方法や視点の開発などにつき、具体的な研究例をとり上げて討論する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE143	動物系統分類学セミナーBIII	2	1.0	2	春C	応談	研究室	町田 龍一郎, 和田 洋, 本多 正尚	動物界を構成する多様な分類群間の系統関係の解析について、実験の方法や考え方の有用性と限界、新しい方法や視点の開発などにつき、具体的な研究例をとり上げて討論する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE144	動物系統分類学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	町田 龍一郎, 和田 洋, 本多 正尚	動物群間の系統関係を解析するための種々の研究・実験の方法とその適用のしかた、その結果の解釈などを実際の例にもとづいて解析・論議する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE145	動物系統分類学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	町田 龍一郎, 和田 洋, 本多 正尚	動物群間の系統関係を解析するための種々の研究・実験の方法とその適用のしかた、その結果の解釈などを実際の例にもとづいて解析・論議する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE146	動物系統分類学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	町田 龍一郎, 和田 洋, 本多 正尚	動物群間の系統関係を解析するための種々の研究・実験の方法とその適用のしかた、その結果の解釈などを実際の例にもとづいて解析・論議する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE147	動物系統分類学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	町田 龍一郎, 和田 洋, 本多 正尚	動物系統分類学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE148	動物系統分類学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	町田 龍一郎, 和田 洋, 本多 正尚	動物系統分類学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE149	動物系統分類学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	町田 龍一郎, 和田 洋, 本多 正尚	動物系統分類学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE157	微生物学セミナーAI	2	1.0	1	春AB	応談	研究室	橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑原 朋彦, 伊藤 希, 千葉 洋子	微生物科学分野についての問題提起を行い、関連する文献の収集・講読を通して、基礎的な知識を習得させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE158	微生物学セミナーAII	2	1.0	1	秋AB	応談	研究室	橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑原 朋彦, 伊藤 希, 千葉 洋子	微生物科学分野についての問題提起を行い、関連する文献の収集・講読を通して、基礎的な知識を習得させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE159	微生物学セミナーAIII	2	1.0	1	秋C	応談	研究室	橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑原 朋彦, 伊藤 希, 千葉 洋子	微生物科学分野についての問題提起を行い、関連する文献の収集・講読を通して、基礎的な知識を習得させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE161	微生物学セミナーBI	2	1.0	2	春AB	応談	研究室	橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑原 朋彦, 伊藤 希, 千葉 洋子	微生物科学分野についての問題意識を高め、既存研究を整理・統合することにより、先端科学研究の現状を把握させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE162	微生物学セミナーBII	2	1.0	2	秋AB	応談	研究室	橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑原 朋彦, 伊藤 希, 千葉 洋子	微生物科学分野についての問題意識を高め、既存研究を整理・統合することにより、先端科学研究の現状を把握させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AE163	微生物学セミナーBIII	2	1.0	2	春C	応談	研究室	橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑原 朋彦, 伊藤 希, 千葉 洋子	微生物科学分野についての問題意識を高め, 既存研究を整理・統合することにより, 先端科学研究の現状を把握させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE164	微生物学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑原 朋彦, 伊藤 希	すべての生物学実験法の基礎となるべき微生物学実験方法の基礎を理解するとともに, それらの問題点を明らかにして, 各自の行うべき今後の研究の手法に役立てることを指向する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE165	微生物学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑原 朋彦, 伊藤 希	すべての生物学実験法の基礎となるべき微生物学実験方法の基礎を理解するとともに, それらの問題点を明らかにして, 各自の行うべき今後の研究の手法に役立てることを指向する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE166	微生物学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑原 朋彦, 伊藤 希	すべての生物学実験法の基礎となるべき微生物学実験方法の基礎を理解するとともに, それらの問題点を明らかにして, 各自の行うべき今後の研究の手法に役立てることを指向する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE167	微生物学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑原 朋彦, 伊藤 希	微生物学研究法AIに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE168	微生物学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑原 朋彦, 伊藤 希	微生物学研究法AIに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE169	微生物学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	橋本 哲男, 稲垣 祐司, 桑原 朋彦, 伊藤 希	微生物学研究法AIに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE317	生態学セミナーAI	2	1.0	1	春AB	応談		濱 健夫, 渡邊 守, 田中 健太, 徳永 幸彦, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 鈴木 亮, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ	生物群集と生態系と理解するための最新理論とその実践を講述する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE318	生態学セミナーAII	2	1.0	1	秋AB	応談		濱 健夫, 渡邊 守, 田中 健太, 徳永 幸彦, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 鈴木 亮, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ	生物群集と生態系と理解するための最新理論とその実践を講述する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE319	生態学セミナーAIII	2	1.0	1	秋C	応談		濱 健夫, 渡邊 守, 田中 健太, 徳永 幸彦, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 鈴木 亮, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ	生物群集と生態系と理解するための最新理論とその実践を講述する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE321	生態学セミナーBI	2	1.0	2	春AB	応談	研究室	濱 健夫, 渡邊 守, 田中 健太, 徳永 幸彦, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 鈴木 亮, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ	野外生物群集の調査法と生理生態学研究の理論と実際を講述する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE322	生態学セミナーBII	2	1.0	2	秋AB	応談	研究室	濱 健夫, 渡邊 守, 田中 健太, 徳永 幸彦, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 鈴木 亮, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ	野外生物群集の調査法と生理生態学研究の理論と実際を講述する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AE323	生態学セミナーBIII	2	1.0	2	春C	応談		濱 健夫, 渡邊 守, 田中 健太, 徳永 幸彦, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 鈴木 亮, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ	野外生物群集の調査法と生理生態学研究の理論と実際を講述する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE324	生態学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	濱 健夫, 渡邊 守, 田中 健太, 徳永 幸彦, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 鈴木 亮, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ	野外生物群集の調査法と実験室内での生態実験法, 及び結果の数理的扱いについて講述する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE325	生態学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	濱 健夫, 渡邊 守, 田中 健太, 徳永 幸彦, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 鈴木 亮, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ	野外生物群集の調査法と実験室内での生態実験法, 及び結果の数理的扱いについて講述する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE326	生態学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	濱 健夫, 渡邊 守, 田中 健太, 徳永 幸彦, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 鈴木 亮, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ	野外生物群集の調査法と実験室内での生態実験法, 及び結果の数理的扱いについて講述する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE327	生態学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	濱 健夫, 渡邊 守, 田中 健太, 徳永 幸彦, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 鈴木 亮, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ	群集生態学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE328	生態学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	濱 健夫, 渡邊 守, 田中 健太, 徳永 幸彦, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 鈴木 亮, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ	群集生態学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE329	生態学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	濱 健夫, 渡邊 守, 田中 健太, 徳永 幸彦, 廣田 充, 大橋 一晴, 今 孝悦, 鈴木 亮, 和田 茂樹, アグスティーン シルバン レオナー ジョージ	群集生態学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE517	進化遺伝学セミナーAI	2	1.0	1	春AB	応談		古久保 - 徳永 克男, 澤村 京一, 丹羽 隆介, 丸尾 文昭	昆虫類, 両生類などの動物の個体, 集団, 社会からみた進化生物学全般にわたる現象の理解と基本的な考え方を修得することを目的として, 主として古典的名著を用いて指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE518	進化遺伝学セミナーAII	2	1.0	1	秋AB	応談		古久保 - 徳永 克男, 澤村 京一, 丹羽 隆介, 丸尾 文昭	昆虫類, 両生類などの動物の個体, 集団, 社会からみた進化生物学全般にわたる現象の理解と基本的な考え方を修得することを目的として, 主として古典的名著を用いて指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE519	進化遺伝学セミナーAIII	2	1.0	1	秋C	応談		古久保 - 徳永 克男, 澤村 京一, 丹羽 隆介, 丸尾 文昭	昆虫類, 両生類などの動物の個体, 集団, 社会からみた進化生物学全般にわたる現象の理解と基本的な考え方を修得することを目的として, 主として古典的名著を用いて指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AE521	進化遺伝学セミナーBI	2	1.0	2	春AB	応談		古久保 - 徳永 克男, 澤村 京一, 丹羽 隆介, 丸尾 文昭	昆虫類, 両生類などの生物を扱った論文を取り上げ, 進化に対してどのようなアプローチをしているかを, 学生の研究分野と関連づけながら分析させ, 指導を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE522	進化遺伝学セミナーBII	2	1.0	2	秋AB	応談		古久保 - 徳永 克男, 澤村 京一, 丹羽 隆介, 丸尾 文昭	昆虫類, 両生類などの生物を扱った論文を取り上げ, 進化に対してどのようなアプローチをしているかを, 学生の研究分野と関連づけながら分析させ, 指導を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE523	進化遺伝学セミナーBIII	2	1.0	2	春C	応談		古久保 - 徳永 克男, 澤村 京一, 丹羽 隆介, 丸尾 文昭	昆虫類, 両生類などの生物を扱った論文を取り上げ, 進化に対してどのようなアプローチをしているかを, 学生の研究分野と関連づけながら分析させ, 指導を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE524	進化遺伝学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	古久保 - 徳永 克男, 澤村 京一, 丹羽 隆介, 丸尾 文昭	ショウジョウバエを用い, 脳の形成, 性行動, 生殖細胞形成からみた進化に関する問題の所在を突き止め, 検討させる。その遺伝的機構を明らかにするための実際的方法を習得させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE525	進化遺伝学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	古久保 - 徳永 克男, 澤村 京一, 丹羽 隆介, 丸尾 文昭	ショウジョウバエを用い, 脳の形成, 性行動, 生殖細胞形成からみた進化に関する問題の所在を突き止め, 検討させる。その遺伝的機構を明らかにするための実際的方法を習得させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE526	進化遺伝学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	古久保 - 徳永 克男, 澤村 京一, 丹羽 隆介, 丸尾 文昭	ショウジョウバエを用い, 脳の形成, 性行動, 生殖細胞形成からみた進化に関する問題の所在を突き止め, 検討させる。その遺伝的機構を明らかにするための実際的方法を習得させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE527	進化遺伝学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	古久保 - 徳永 克男, 澤村 京一, 丹羽 隆介, 丸尾 文昭	進化遺伝学研究法AIに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE528	進化遺伝学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	古久保 - 徳永 克男, 澤村 京一, 丹羽 隆介, 丸尾 文昭	進化遺伝学研究法AIに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE529	進化遺伝学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	古久保 - 徳永 克男, 澤村 京一, 丹羽 隆介, 丸尾 文昭	進化遺伝学研究法AIに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE617	遺伝子多様性学セミナーAI	2	1.0	1	春AB	応談	研究室	渡邊 和男, 菊池 彰, 小口 太一	遺伝子多様性学について問題提起を行い, 関連する文献の幅広い収集と購読を通して論文の構成と研究の流れの基盤を理解するように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE618	遺伝子多様性学セミナーAII	2	1.0	1	秋AB	応談	研究室	渡邊 和男, 菊池 彰, 小口 太一	遺伝子多様性学について問題提起を行い, 関連する文献の幅広い収集と購読を通して論文の構成と研究の流れの基盤を理解するように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE619	遺伝子多様性学セミナーAIII	2	1.0	1	秋C	応談	研究室	渡邊 和男, 菊池 彰, 小口 太一	遺伝子多様性学について問題提起を行い, 関連する文献の幅広い収集と購読を通して論文の構成と研究の流れの基盤を理解するように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE621	遺伝子多様性学セミナーBI	2	1.0	2	春AB	応談	研究室	渡邊 和男, 菊池 彰, 小口 太一	遺伝子多様性学について, 現行の研究を整理統合することにより, 研究の現状を理解するように指導する。遺伝学や生物学などの自然科学的観点だけでなく, 政策, 社会, 経済, 法律及び国際関係の観点を含め, 学際的な事例研究の理解により, 幅広い知見を獲得するように指導を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE622	遺伝子多様性学セミナーBII	2	1.0	2	秋AB	応談	研究室	渡邊 和男, 菊池 彰, 小口 太一	遺伝子多様性学について, 現行の研究を整理統合することにより, 研究の現状を理解するように指導する。遺伝学や生物学などの自然科学的観点だけでなく, 政策, 社会, 経済, 法律及び国際関係の観点を含め, 学際的な事例研究の理解により, 幅広い知見を獲得するように指導を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE623	遺伝子多様性学セミナーBIII	2	1.0	2	春C	応談	研究室	渡邊 和男, 菊池 彰, 小口 太一	遺伝子多様性学について, 現行の研究を整理統合することにより, 研究の現状を理解するように指導する。遺伝学や生物学などの自然科学的観点だけでなく, 政策, 社会, 経済, 法律及び国際関係の観点を含め, 学際的な事例研究の理解により, 幅広い知見を獲得するように指導を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE624	遺伝子多様性学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	渡邊 和男, 菊池 彰, 小口 太一	産業の基幹資源となる生物・遺伝資源について, 生命科学的な観点から基礎的事項及び産業利用について調査, 研究の手法及び多様な数値の解析について実地に指導する。さらに, 知的所有権などの無体産物についての資源的理解も解説する。バイオ産業の研究開発において, 情報, 研究経費, 時間, 人材やインフラストラクチャーなどのクリティカルマスの資源管理についても経験する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AE625	遺伝子多様性学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	渡邊 和男, 菊池 彰, 小口 太一	産業の基幹資源となる生物・遺伝資源について、生命科学的な観点から基礎的事項及び産業利用について調査、研究の手法及び多様な数値の解析について実地に指導する。さらに、知的所有権などの無体産物についての資源的理解も解説する。バイオ産業の研究開発において、情報、研究経費、時間、人材やインフラストラクチャーなどのクリエイティブな資源管理についても経験する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE626	遺伝子多様性学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	渡邊 和男, 菊池 彰, 小口 太一	産業の基幹資源となる生物・遺伝資源について、生命科学的な観点から基礎的事項及び産業利用について調査、研究の手法及び多様な数値の解析について実地に指導する。さらに、知的所有権などの無体産物についての資源的理解も解説する。バイオ産業の研究開発において、情報、研究経費、時間、人材やインフラストラクチャーなどのクリエイティブな資源管理についても経験する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE627	遺伝子多様性学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	渡邊 和男, 菊池 彰, 小口 太一	遺伝子多様性学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE628	遺伝子多様性学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	渡邊 和男, 菊池 彰, 小口 太一	遺伝子多様性学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AE629	遺伝子多様性学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	渡邊 和男, 菊池 彰, 小口 太一	遺伝子多様性学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF117	細胞構造学セミナーAI	2	1.0	1	春AB	応談	研究室	宮村 新一	細胞の機能と構造に関する文献を探索、読解する手法を会得する。特に、藻類の細胞構造、鞭毛および鞭毛装置の機能と構造、を中心にして指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF118	細胞構造学セミナーAII	2	1.0	1	秋AB	応談	研究室	宮村 新一	細胞の機能と構造に関する文献を探索、読解する手法を会得する。特に、藻類の細胞構造、鞭毛および鞭毛装置の機能と構造、を中心にして指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF119	細胞構造学セミナーAIII	2	1.0	1	秋C	応談	研究室	宮村 新一	細胞の機能と構造に関する文献を探索、読解する手法を会得する。特に、藻類の細胞構造、鞭毛および鞭毛装置の機能と構造、を中心にして指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF121	細胞構造学セミナーBI	2	1.0	2	春AB	応談	研究室	宮村 新一	特に単細胞生物と藻類における細胞の機能と構造の関係を理解させるために、関連文献の探索、講読、解釈を指導し、あわせて自分の研究課題との関係を体系的にまとめ、発表できるよう指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF122	細胞構造学セミナーBII	2	1.0	2	秋AB	応談	研究室	宮村 新一	特に単細胞生物と藻類における細胞の機能と構造の関係を理解させるために、関連文献の探索、講読、解釈を指導し、あわせて自分の研究課題との関係を体系的にまとめ、発表できるよう指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF123	細胞構造学セミナーBIII	2	1.0	2	春C	応談	研究室	宮村 新一	特に単細胞生物と藻類における細胞の機能と構造の関係を理解させるために、関連文献の探索、講読、解釈を指導し、あわせて自分の研究課題との関係を体系的にまとめ、発表できるよう指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF124	細胞構造学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	宮村 新一	細胞の機能と構造に関する諸問題を解析するために必要な細胞生物学的手法、光学・電子顕微鏡の手法、細胞生物学的手法について指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF125	細胞構造学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	宮村 新一	細胞の機能と構造に関する諸問題を解析するために必要な細胞生物学的手法、光学・電子顕微鏡の手法、細胞生物学的手法について指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF126	細胞構造学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	宮村 新一	細胞の機能と構造に関する諸問題を解析するために必要な細胞生物学的手法、光学・電子顕微鏡の手法、細胞生物学的手法について指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF127	細胞構造学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	宮村 新一	細胞構造学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF128	細胞構造学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	宮村 新一	細胞構造学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF129	細胞構造学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	宮村 新一	細胞構造学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF137	オルガネラ細胞学セミナーAI	2	1.0	1	春AB	応談	研究室	沼田 治, 中野 賢太郎	優れた論文の講読を通して問題提起を行い、各自が研究課題の問題点を理解して研究目的を把握できるように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AF138	オルガネラ細胞学セミナーAII	2	1.0	1	秋AB	応談	研究室	沼田 治, 中野 賢太郎	優れた論文の講読を通して問題提起を行い、各自が研究課題の問題点を理解して研究目的を把握できるように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF139	オルガネラ細胞学セミナーAIII	2	1.0	1	秋C	応談	研究室	沼田 治, 中野 賢太郎	優れた論文の講読を通して問題提起を行い、各自が研究課題の問題点を理解して研究目的を把握できるように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF141	オルガネラ細胞学セミナーBI	2	1.0	2	春AB	応談	研究室	沼田 治, 中野 賢太郎	優れた論文の講読を通して、各自が研究成果の現状を整理統合し、研究課題の位置付けと将来の展望を持つことができるように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF142	オルガネラ細胞学セミナーBII	2	1.0	2	秋AB	応談	研究室	沼田 治, 中野 賢太郎	優れた論文の講読を通して、各自が研究成果の現状を整理統合し、研究課題の位置付けと将来の展望を持つことができるように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF143	オルガネラ細胞学セミナーBIII	2	1.0	2	春C	応談	研究室	沼田 治, 中野 賢太郎	優れた論文の講読を通して、各自が研究成果の現状を整理統合し、研究課題の位置付けと将来の展望を持つことができるように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF144	オルガネラ細胞学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	沼田 治, 中野 賢太郎	細胞周期の特定の時期に出現するオルガネラの構造と機能および形成と消失に関わるタンパク質の同定分離、性状解析および機能解明に必要な研究技術を指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF145	オルガネラ細胞学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	沼田 治, 中野 賢太郎	細胞周期の特定の時期に出現するオルガネラの構造と機能および形成と消失に関わるタンパク質の同定分離、性状解析および機能解明に必要な研究技術を指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF146	オルガネラ細胞学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	沼田 治, 中野 賢太郎	細胞周期の特定の時期に出現するオルガネラの構造と機能および形成と消失に関わるタンパク質の同定分離、性状解析および機能解明に必要な研究技術を指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF147	オルガネラ細胞学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	沼田 治, 中野 賢太郎	オルガネラ細胞学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF148	オルガネラ細胞学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	沼田 治, 中野 賢太郎	オルガネラ細胞学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF149	オルガネラ細胞学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	沼田 治, 中野 賢太郎	オルガネラ細胞学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF157	細胞生物学セミナーAI	2	1.0	1	春AB	応談	研究室	中田 和人	細胞生物学の分野において、過去数年間に出版された英語の総説の中から評価の高いものをとりあげ、幅広い情報と自らの研究課題に必要な情報を適切に取り入れていく講義を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF158	細胞生物学セミナーAII	2	1.0	1	秋AB	応談	研究室	中田 和人	細胞生物学の分野において、過去数年間に出版された英語の総説の中から評価の高いものをとりあげ、幅広い情報と自らの研究課題に必要な情報を適切に取り入れていく講義を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF159	細胞生物学セミナーAIII	2	1.0	1	秋C	応談	研究室	中田 和人	細胞生物学の分野において、過去数年間に出版された英語の総説の中から評価の高いものをとりあげ、幅広い情報と自らの研究課題に必要な情報を適切に取り入れていく講義を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF161	細胞生物学セミナーBI	2	1.0	2	春AB	応談	研究室	中田 和人	細胞生物学の分野において、とりわけ自分の研究課題に密接に関わりのある英語の最新原著論文を取りあげ、自らの研究課題を遂行していく上で必要な最新情報をいち早く取り入れる訓練を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF162	細胞生物学セミナーBII	2	1.0	2	秋AB	応談	研究室	中田 和人	細胞生物学の分野において、とりわけ自分の研究課題に密接に関わりのある英語の最新原著論文を取りあげ、自らの研究課題を遂行していく上で必要な最新情報をいち早く取り入れる訓練を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF163	細胞生物学セミナーBIII	2	1.0	2	春C	応談	研究室	中田 和人	細胞生物学の分野において、とりわけ自分の研究課題に密接に関わりのある英語の最新原著論文を取りあげ、自らの研究課題を遂行していく上で必要な最新情報をいち早く取り入れる訓練を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF164	細胞生物学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	中田 和人	オルガネラのバイोजェネシスを中心に、これに関連する遺伝子の発現とその産物の機能について分子レベルで総合的に研究を遂行していく上で必要な研究技術の習得を重点的に行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF165	細胞生物学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	中田 和人	オルガネラのバイोजェネシスを中心に、これに関連する遺伝子の発現とその産物の機能について分子レベルで総合的に研究を遂行していく上で必要な研究技術の習得を重点的に行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF166	細胞生物学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	中田 和人	オルガネラのバイोजェネシスを中心に、これに関連する遺伝子の発現とその産物の機能について分子レベルで総合的に研究を遂行していく上で必要な研究技術の習得を重点的に行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AF167	細胞生物学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	中田 和人	細胞生物学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF168	細胞生物学研究法BI I	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	中田 和人	細胞生物学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF169	細胞生物学研究法BI II	7	2.0	2	春C	応談	研究室	中田 和人	細胞生物学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF317	発生生物学セミナーAI	2	1.0	1	春AB	応談	研究室	齊藤 康典, 笹倉 靖徳	発生生物学における研究論文の講読を通じて、その結果を評価し、問題点を指摘することにより新しい課題の見つけ方を指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF318	発生生物学セミナーAI I	2	1.0	1	秋AB	応談	研究室	齊藤 康典, 笹倉 靖徳	発生生物学における研究論文の講読を通じて、その結果を評価し、問題点を指摘することにより新しい課題の見つけ方を指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF319	発生生物学セミナーAI II	2	1.0	1	秋C	応談	研究室	齊藤 康典, 笹倉 靖徳	発生生物学における研究論文の講読を通じて、その結果を評価し、問題点を指摘することにより新しい課題の見つけ方を指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF321	発生生物学セミナーBI	2	1.0	2	春AB	応談	研究室	齊藤 康典, 笹倉 靖徳	見つけた課題の解決方法、実験方法、予測される結果の評価の仕方などを教授することにより、関連分野の実験を比較し、これから行う研究を有意義なものとするように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF322	発生生物学セミナーBI I	2	1.0	2	秋AB	応談	研究室	齊藤 康典, 笹倉 靖徳	見つけた課題の解決方法、実験方法、予測される結果の評価の仕方などを教授することにより、関連分野の実験を比較し、これから行う研究を有意義なものとするように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF323	発生生物学セミナーBI II	2	1.0	2	春C	応談	研究室	齊藤 康典, 笹倉 靖徳	見つけた課題の解決方法、実験方法、予測される結果の評価の仕方などを教授することにより、関連分野の実験を比較し、これから行う研究を有意義なものとするように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF324	発生生物学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	齊藤 康典, 笹倉 靖徳	胚発生における重要な高分子成分の研究方法を解説し、その基本的原理、応用可能範囲を理解させ、結果の考察、論理の進め方を指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF325	発生生物学研究法AI I	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	齊藤 康典, 笹倉 靖徳	胚発生における重要な高分子成分の研究方法を解説し、その基本的原理、応用可能範囲を理解させ、結果の考察、論理の進め方を指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF326	発生生物学研究法AI II	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	齊藤 康典, 笹倉 靖徳	胚発生における重要な高分子成分の研究方法を解説し、その基本的原理、応用可能範囲を理解させ、結果の考察、論理の進め方を指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF327	発生生物学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	齊藤 康典, 笹倉 靖徳	細胞生物学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF328	発生生物学研究法BI I	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	齊藤 康典, 笹倉 靖徳	細胞生物学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF329	発生生物学研究法BI II	7	2.0	2	春C	応談	研究室	齊藤 康典, 笹倉 靖徳	細胞生物学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF517	脳神経情報生物学セミナーAI	2	1.0	1	春AB	応談	研究室	千葉 親文, 中谷 敬, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生	神経生物学分野に関連した欧文論文の収集と講読を行い、脳神経回路網の成り立ちと情報処理機構についての基礎知識を習得させ問題意識を高める。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF518	脳神経情報生物学セミナーAI I	2	1.0	1	秋AB	応談	研究室	千葉 親文, 中谷 敬, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生	神経生物学分野に関連した欧文論文の収集と講読を行い、脳神経回路網の成り立ちと情報処理機構についての基礎知識を習得させ問題意識を高める。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF519	脳神経情報生物学セミナーAI II	2	1.0	1	秋C	応談	研究室	千葉 親文, 中谷 敬, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生	神経生物学分野に関連した欧文論文の収集と講読を行い、脳神経回路網の成り立ちと情報処理機構についての基礎知識を習得させ問題意識を高める。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF521	脳神経情報生物学セミナーBI	2	1.0	2	春AB	応談	研究室	千葉 親文, 中谷 敬, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生	神経生物学分野についての欧文論文の講読を通して脳神経回路網の成り立ちとその働きに関する問題意識を高め、当該分野における研究の評価と進展状況を理解させ、研究方法について討論する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF522	脳神経情報生物学セミナーBI I	2	1.0	2	秋AB	応談	研究室	千葉 親文, 中谷 敬, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生	神経生物学分野についての欧文論文の講読を通して脳神経回路網の成り立ちとその働きに関する問題意識を高め、当該分野における研究の評価と進展状況を理解させ、研究方法について討論する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AF523	脳神経情報生物学セミナー-B1111	2	1.0	2	春C	応談	研究室	千葉 親文, 中谷 敬, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生	神経生物学分野についての欧文論文の講読を通して脳神経回路網の成り立ちとその働きに関する問題意識を高め, 当該分野における研究の評価と進展状況を理解させ, 研究方法について討論する.	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF524	脳神経情報生物学研究法A1	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	千葉 親文, 中谷 敬, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生	脳神経組織の発生や再生過程における細胞の機能分化や神経回路網形成を研究するための実験計画の立て方や, 研究に必要な電気生理学的実験法や分子生物学実験法, さらに細胞培養法や細胞内カルシウム濃度測光法などの習得を指導する.	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF525	脳神経情報生物学研究法A11	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	千葉 親文, 中谷 敬, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生	脳神経組織の発生や再生過程における細胞の機能分化や神経回路網形成を研究するための実験計画の立て方や, 研究に必要な電気生理学的実験法や分子生物学実験法, さらに細胞培養法や細胞内カルシウム濃度測光法などの習得を指導する.	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF526	脳神経情報生物学研究法A111	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	千葉 親文, 中谷 敬, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生	脳神経組織の発生や再生過程における細胞の機能分化や神経回路網形成を研究するための実験計画の立て方や, 研究に必要な電気生理学的実験法や分子生物学実験法, さらに細胞培養法や細胞内カルシウム濃度測光法などの習得を指導する.	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF527	脳神経情報生物学研究法B1	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	千葉 親文, 中谷 敬, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生	脳神経情報学研究法A1に基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する.	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF528	脳神経情報生物学研究法B11	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	千葉 親文, 中谷 敬, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生	脳神経情報学研究法A1に基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する.	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF529	脳神経情報生物学研究法B111	7	2.0	2	春C	応談	研究室	千葉 親文, 中谷 敬, 大網 一則, 櫻井 啓輔, 堀江 健生	脳神経情報学研究法A1に基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する.	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AF894	細胞代謝化学研究法A1	7	2.0	1	春AB	応談		細谷 昌樹		平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF895	細胞代謝化学研究法A11	7	2.0	1	秋AB	応談		細谷 昌樹		平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF896	細胞代謝化学研究法A111	7	2.0	1	秋C	応談		細谷 昌樹		平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF897	細胞代謝化学研究法B1	7	2.0	2	春AB	応談		細谷 昌樹		平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF898	細胞代謝化学研究法B11	7	2.0	2	秋AB	応談		細谷 昌樹		平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF899	細胞代謝化学研究法B111	7	2.0	2	春C	応談		細谷 昌樹		平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF904	器官発生工学研究法A1	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	栗崎 晃	モデル生物であるアフリカツメガエルを用いて臓器・器官がどのようにして形作られるのかについて, 特に, 細胞増殖因子や転写因子などに焦点を当て, そのシグナル伝達や形態形成に及ぼす影響などをひも解くことにより, 臓器・器官の形成の解析法を実地に指導する. また, ES細胞や成体組織に微量に存在する組織性幹細胞を利用した細胞分化制御研究を進めるためのアプローチについても, 実験手法を解説しながら具体的な事例に基づいて指導する.	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AF905	器官発生工学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	栗崎 晃	モデル生物であるアフリカツメガエルを用いて臓器・器官がどのようにして形作られるのかについて、特に、細胞増殖因子や転写因子などに焦点を当て、そのシグナル伝達や形態形成に及ぼす影響などをひも解くことにより、臓器・器官の形成の解析法を実地に指導する。また、ES細胞や成体組織に微量に存在する組織性幹細胞を利用した細胞分化制御研究を進めるためのアプローチについても、実験手法を解説しながら具体的な事例に基づいて指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF906	器官発生工学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	栗崎 晃	モデル生物であるアフリカツメガエルを用いて臓器・器官がどのようにして形作られるのかについて、特に、細胞増殖因子や転写因子などに焦点を当て、そのシグナル伝達や形態形成に及ぼす影響などをひも解くことにより、臓器・器官の形成の解析法を実地に指導する。また、ES細胞や成体組織に微量に存在する組織性幹細胞を利用した細胞分化制御研究を進めるためのアプローチについても、実験手法を解説しながら具体的な事例に基づいて指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF907	器官発生工学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	栗崎 晃	器官発生工学Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF908	器官発生工学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	栗崎 晃	器官発生工学Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF909	器官発生工学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	栗崎 晃	器官発生工学Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF917	細胞運動学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	上田 太郎, 廣瀬 恵子	細胞運動学に特有な実験・研究計画の立て方、技術、データの解析方法について、具体的な事例に基づき指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF918	細胞運動学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	上田 太郎, 廣瀬 恵子	細胞運動学に特有な実験・研究計画の立て方、技術、データの解析方法について、具体的な事例に基づき指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF919	細胞運動学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	上田 太郎, 廣瀬 恵子	細胞運動学に特有な実験・研究計画の立て方、技術、データの解析方法について、具体的な事例に基づき指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF921	細胞運動学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	上田 太郎, 廣瀬 恵子	細胞運動学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF922	細胞運動学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	上田 太郎, 廣瀬 恵子	細胞運動学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF923	細胞運動学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	上田 太郎, 廣瀬 恵子	細胞運動学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF937	動物発生遺伝学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	阿部 訓也	順遺伝学、逆遺伝学に立脚した遺伝学的研究法、ゲノム解析に代表される網羅的解析手法、並びに情報科学的手法の基本を解説する。最新の知見を例として、これら一連の手法を駆使した研究方法論に関して論じる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AF938	動物発生遺伝学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	阿部 訓也	順遺伝学、逆遺伝学に立脚した遺伝学的研究法、ゲノム解析に代表される網羅的解析手法、並びに情報科学的手法の基本を解説する。最新の知見を例として、これら一連の手法を駆使した研究方法論に関して論じる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF939	動物発生遺伝学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	阿部 訓也	順遺伝学、逆遺伝学に立脚した遺伝学的研究法、ゲノム解析に代表される網羅的解析手法、並びに情報科学的手法の基本を解説する。最新の知見を例として、これら一連の手法を駆使した研究方法論に関して論じる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF941	動物発生遺伝学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	阿部 訓也	動物発生遺伝学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF942	動物発生遺伝学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	阿部 訓也	動物発生遺伝学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF943	動物発生遺伝学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	阿部 訓也	動物発生遺伝学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF957	哺乳類遺伝学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	設楽 浩志	実験材料となる近交系マウスの取扱の基礎技術、特に飼育法、単因子、多因子連鎖解析法、ポジショナルクローニング法、遺伝子改変動物の作製法などの手法について解説し、必要に応じ実際に指導し、遺伝学的方法を習得させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF958	哺乳類遺伝学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	設楽 浩志	実験材料となる近交系マウスの取扱の基礎技術、特に飼育法、単因子、多因子連鎖解析法、ポジショナルクローニング法、遺伝子改変動物の作製法などの手法について解説し、必要に応じ実際に指導し、遺伝学的方法を習得させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF959	哺乳類遺伝学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	設楽 浩志	実験材料となる近交系マウスの取扱の基礎技術、特に飼育法、単因子、多因子連鎖解析法、ポジショナルクローニング法、遺伝子改変動物の作製法などの手法について解説し、必要に応じ実際に指導し、遺伝学的方法を習得させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF961	哺乳類遺伝学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	設楽 浩志	哺乳類遺伝学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF962	哺乳類遺伝学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	設楽 浩志	哺乳類遺伝学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF963	哺乳類遺伝学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	設楽 浩志	哺乳類遺伝学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF974	分子細胞生理学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	加藤 薫	「細胞運動」や「細胞内・細胞間の情報伝達」等の生理学的解析に必須の実験技術と解析法について具体的に研究指導を行う。得られた実験結果をよく吟味し、導かれる結論の考察を通して、科学的思考を養う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF975	分子細胞生理学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	加藤 薫	「細胞運動」や「細胞内・細胞間の情報伝達」等の生理学的解析に必須の実験技術と解析法について具体的に研究指導を行う。得られた実験結果をよく吟味し、導かれる結論の考察を通して、科学的思考を養う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF976	分子細胞生理学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	加藤 薫	「細胞運動」や「細胞内・細胞間の情報伝達」等の生理学的解析に必須の実験技術と解析法について具体的に研究指導を行う。得られた実験結果をよく吟味し、導かれる結論の考察を通して、科学的思考を養う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AF977	分子細胞生理学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	加藤 薫	分子細胞生理学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF978	分子細胞生理学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	加藤 薫	分子細胞生理学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF979	分子細胞生理学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	加藤 薫	分子細胞生理学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF984	感染免疫学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	大西 和夫	感染免疫学の諸問題を解くための情報収集技術、実験・研究計画の立て方および各種免疫学的実験手法(フローサイトメトリー法、免疫蛍光分析法、免疫担当細胞の培養・機能測定法、モノクローナル抗体作製法、など)、病原体取り扱い手法(バイオハザード技術の習得と基礎的な細菌・ウイルスの培養・機能測定法、など)について具体的な事例に基づき指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF985	感染免疫学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	大西 和夫	感染免疫学の諸問題を解くための情報収集技術、実験・研究計画の立て方および各種免疫学的実験手法(フローサイトメトリー法、免疫蛍光分析法、免疫担当細胞の培養・機能測定法、モノクローナル抗体作製法、など)、病原体取り扱い手法(バイオハザード技術の習得と基礎的な細菌・ウイルスの培養・機能測定法、など)について具体的な事例に基づき指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF986	感染免疫学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	大西 和夫	感染免疫学の諸問題を解くための情報収集技術、実験・研究計画の立て方および各種免疫学的実験手法(フローサイトメトリー法、免疫蛍光分析法、免疫担当細胞の培養・機能測定法、モノクローナル抗体作製法、など)、病原体取り扱い手法(バイオハザード技術の習得と基礎的な細菌・ウイルスの培養・機能測定法、など)について具体的な事例に基づき指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF987	感染免疫学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	大西 和夫	感染免疫学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF988	感染免疫学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	大西 和夫	感染免疫学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF989	感染免疫学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	大西 和夫	感染免疫学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF994	分子寄生虫学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	野崎 智義, 永宗 喜三郎, 千葉 洋子	人に感染症を起こす寄生性原生物の病原機構の分子機構を解明する方法論に関して、分子生物学・遺伝学・生化学・細胞生物学などの手法を具体的に紹介し、指導を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF995	分子寄生虫学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	野崎 智義, 永宗 喜三郎, 千葉 洋子	人に感染症を起こす寄生性原生物の病原機構の分子機構を解明する方法論に関して、分子生物学・遺伝学・生化学・細胞生物学などの手法を具体的に紹介し、指導を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF996	分子寄生虫学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	野崎 智義, 永宗 喜三郎, 千葉 洋子	人に感染症を起こす寄生性原生物の病原機構の分子機構を解明する方法論に関して、分子生物学・遺伝学・生化学・細胞生物学などの手法を具体的に紹介し、指導を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF997	分子寄生虫学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	野崎 智義, 永宗 喜三郎, 千葉 洋子	分子寄生虫学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AF998	分子寄生虫学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	野崎 智義, 永宗 喜三郎, 千葉 洋子	分子寄生虫学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AF999	分子寄生虫学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	野崎 智義, 永宗 喜三郎, 千葉 洋子	分子寄生虫学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AG117	植物発生学セミナーAI	2	1.0	1	春AB	応談	研究室	三浦 謙治, 小野道之	植物発生学分野に関する基礎的な問題提起を行い、関連する文献の収集・講読・討論を通じ、植物発生学の基礎となる細胞分裂、細胞・組織・器官分化、形態形成、機能分化等に関する広範な知識が得られるように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG118	植物発生学セミナーAII	2	1.0	1	秋AB	応談	研究室	三浦 謙治, 小野道之	植物発生学分野に関する基礎的な問題提起を行い、関連する文献の収集・講読・討論を通じ、植物発生学の基礎となる細胞分裂、細胞・組織・器官分化、形態形成、機能分化等に関する広範な知識が得られるように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG119	植物発生学セミナーAIII	2	1.0	1	秋C	応談	研究室	三浦 謙治, 小野道之	植物発生学分野に関する基礎的な問題提起を行い、関連する文献の収集・講読・討論を通じ、植物発生学の基礎となる細胞分裂、細胞・組織・器官分化、形態形成、機能分化等に関する広範な知識が得られるように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG121	植物発生学セミナーBI	2	1.0	2	春AB	応談	研究室	三浦 謙治, 小野道之	植物発生学分野に関する広範な問題提起を行い、既存研究の整理・統合、討論を通じ、植物発生に関する深い知識と最新の知見を得られるようにすると共に、植物発生学に関する問題意識を高めるように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG122	植物発生学セミナーBII	2	1.0	2	秋AB	応談	研究室	三浦 謙治, 小野道之	植物発生学分野に関する広範な問題提起を行い、既存研究の整理・統合、討論を通じ、植物発生に関する深い知識と最新の知見を得られるようにすると共に、植物発生学に関する問題意識を高めるように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG123	植物発生学セミナーBIII	2	1.0	2	春C	応談	研究室	三浦 謙治, 小野道之	植物発生学分野に関する広範な問題提起を行い、既存研究の整理・統合、討論を通じ、植物発生に関する深い知識と最新の知見を得られるようにすると共に、植物発生学に関する問題意識を高めるように指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG124	植物発生学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	三浦 謙治, 小野道之	植物発生学の基礎となる細胞分裂、細胞・組織・器官分化、形態形成、機能分化等について、その現象に關与する生体分子の機能および相互作用に関する実験方法・解析方法等について実例に基づいて解説・討議を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG125	植物発生学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	三浦 謙治, 小野道之	植物発生学の基礎となる細胞分裂、細胞・組織・器官分化、形態形成、機能分化等について、その現象に關与する生体分子の機能および相互作用に関する実験方法・解析方法等について実例に基づいて解説・討議を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG126	植物発生学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	三浦 謙治, 小野道之	植物発生学の基礎となる細胞分裂、細胞・組織・器官分化、形態形成、機能分化等について、その現象に關与する生体分子の機能および相互作用に関する実験方法・解析方法等について実例に基づいて解説・討議を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG127	植物発生学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	三浦 謙治, 小野道之	植物発生学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG128	植物発生学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	三浦 謙治, 小野道之	植物発生学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG129	植物発生学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	三浦 謙治, 小野道之	植物発生学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG217	生殖分子情報学セミナーAI	2	1.0	1	春AB	応談	研究室	稲葉 一男, 谷口 俊介, 柴 小菊, 中野 裕昭	生殖細胞の分子構築と受精時のシグナル伝達機構に関する文献の収集と精読を指導する。これらを題材に、生殖細胞の分子ネットワークの原理を理解させると同時に、解明されていない問題の提起を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG218	生殖分子情報学セミナーAII	2	1.0	1	秋AB	応談	研究室	稲葉 一男, 谷口 俊介, 柴 小菊, 中野 裕昭	生殖細胞の分子構築と受精時のシグナル伝達機構に関する文献の収集と精読を指導する。これらを題材に、生殖細胞の分子ネットワークの原理を理解させると同時に、解明されていない問題の提起を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG219	生殖分子情報学セミナーAIII	2	1.0	1	秋C	応談	研究室	稲葉 一男, 谷口 俊介, 柴 小菊, 中野 裕昭	生殖細胞の分子構築と受精時のシグナル伝達機構に関する文献の収集と精読を指導する。これらを題材に、生殖細胞の分子ネットワークの原理を理解させると同時に、解明されていない問題の提起を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AG221	生殖分子情報学セミナーBI	2	1.0	2	春AB	応談	研究室	稲葉 一男, 谷口俊介, 柴小菊, 中野 裕昭	研究に必要な基礎実験技術, 特に生化学, 分子生物学, 細胞生物学における最新の手法とその原理について解説する。また, これらの技術をいかにして個々の研究テーマに適用させるのか, その技法を解説する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG222	生殖分子情報学セミナーBII	2	1.0	2	秋AB	応談	研究室	稲葉 一男, 谷口俊介, 柴小菊, 中野 裕昭	研究に必要な基礎実験技術, 特に生化学, 分子生物学, 細胞生物学における最新の手法とその原理について解説する。また, これらの技術をいかにして個々の研究テーマに適用させるのか, その技法を解説する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG223	生殖分子情報学セミナーBIII	2	1.0	2	春C	応談	研究室	稲葉 一男, 谷口俊介, 柴小菊, 中野 裕昭	研究に必要な基礎実験技術, 特に生化学, 分子生物学, 細胞生物学における最新の手法とその原理について解説する。また, これらの技術をいかにして個々の研究テーマに適用させるのか, その技法を解説する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG224	生殖分子情報学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	稲葉 一男, 谷口俊介, 柴小菊, 中野 裕昭	生殖機能の分子機能を解析する上で必須の実験技術と解析法について, 生殖細胞を用いて具体的に指導を行う。得られた実験結果の吟味と, そこから導かれる結論, 他の関連事項の考察を通じて, 科学的思考を養う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG225	生殖分子情報学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	稲葉 一男, 谷口俊介, 柴小菊, 中野 裕昭	生殖機能の分子機能を解析する上で必須の実験技術と解析法について, 生殖細胞を用いて具体的に指導を行う。得られた実験結果の吟味と, そこから導かれる結論, 他の関連事項の考察を通じて, 科学的思考を養う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG226	生殖分子情報学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	稲葉 一男, 谷口俊介, 柴小菊, 中野 裕昭	生殖機能の分子機能を解析する上で必須の実験技術と解析法について, 生殖細胞を用いて具体的に指導を行う。得られた実験結果の吟味と, そこから導かれる結論, 他の関連事項の考察を通じて, 科学的思考を養う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG227	生殖分子情報学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	稲葉 一男, 谷口俊介, 柴小菊, 中野 裕昭	生殖分子情報学研究法AIに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG228	生殖分子情報学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	稲葉 一男, 谷口俊介, 柴小菊, 中野 裕昭	生殖分子情報学研究法AIに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG229	生殖分子情報学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	稲葉 一男, 谷口俊介, 柴小菊, 中野 裕昭	生殖分子情報学研究法AIに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG317	分子生物学セミナーAI	2	1.0	1	春AB	応談	研究室	千葉 智樹, 中村幸治, 坂本 和一, 鶴田 文憲, 長沼孝雄	分子生物分野についての問題提起を行い, 関連する文献の収集, 講読を通して, 各人の研究に反映させるよう指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG318	分子生物学セミナーAII	2	1.0	1	秋AB	応談	研究室	千葉 智樹, 中村幸治, 坂本 和一, 鶴田 文憲, 長沼孝雄	分子生物分野についての問題提起を行い, 関連する文献の収集, 講読を通して, 各人の研究に反映させるよう指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG319	分子生物学セミナーAIII	2	1.0	1	秋C	応談	研究室	千葉 智樹, 中村幸治, 坂本 和一, 鶴田 文憲, 長沼孝雄	分子生物分野についての問題提起を行い, 関連する文献の収集, 講読を通して, 各人の研究に反映させるよう指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG321	分子生物学セミナーBI	2	1.0	2	春AB	応談		千葉 智樹, 中村幸治, 坂本 和一, 鶴田 文憲, 長沼孝雄	分子生物分野についての問題意識を高め既存研究を整理, 統合することにより, 遺伝子の構造, 複製, 発現制御, 発生・分子・形態形成, 病原遺伝子とその発病機構など生命現象をDNA, RNA, 蛋白質といった分子レベルで解析している国際的研究の現状を把握するために優れた論文を紹介・検討し, 各人の研究に反映させるよう指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG322	分子生物学セミナーBII	2	1.0	2	秋AB	応談		千葉 智樹, 中村幸治, 坂本 和一, 鶴田 文憲, 長沼孝雄	分子生物分野についての問題意識を高め既存研究を整理, 統合することにより, 遺伝子の構造, 複製, 発現制御, 発生・分子・形態形成, 病原遺伝子とその発病機構など生命現象をDNA, RNA, 蛋白質といった分子レベルで解析している国際的研究の現状を把握するために優れた論文を紹介・検討し, 各人の研究に反映させるよう指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG323	分子生物学セミナーBIII	2	1.0	2	春C	応談		千葉 智樹, 中村幸治, 坂本 和一, 鶴田 文憲, 長沼孝雄	分子生物分野についての問題意識を高め既存研究を整理, 統合することにより, 遺伝子の構造, 複製, 発現制御, 発生・分子・形態形成, 病原遺伝子とその発病機構など生命現象をDNA, RNA, 蛋白質といった分子レベルで解析している国際的研究の現状を把握するために優れた論文を紹介・検討し, 各人の研究に反映させるよう指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG324	分子生物学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	千葉 智樹, 中村幸治, 坂本 和一, 鶴田 文憲, 長沼孝雄	生命現象を分子レベルで解析するための遺伝生化学的解析法, 微生物の利用法, 遺伝子工学および蛋白質化学の技術を会得させ, 研究を進める方向・展望について指針をあたえる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AG325	分子生物学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	千葉 智樹, 中村 幸治, 坂本 和, 鶴田 文憲, 長沼 孝雄	生命現象を分子レベルで解析するための遺伝生化学的解析法, 微生物の利用法, 遺伝子工学および蛋白質化学の技術を会得させ, 研究を進める方向・展望について指針をあたえる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG326	分子生物学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	千葉 智樹, 中村 幸治, 坂本 和, 鶴田 文憲, 長沼 孝雄	生命現象を分子レベルで解析するための遺伝生化学的解析法, 微生物の利用法, 遺伝子工学および蛋白質化学の技術を会得させ, 研究を進める方向・展望について指針をあたえる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG327	分子生物学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	千葉 智樹, 中村 幸治, 坂本 和, 鶴田 文憲, 長沼 孝雄	分子生物学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG328	分子生物学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	千葉 智樹, 中村 幸治, 坂本 和, 鶴田 文憲, 長沼 孝雄	分子生物学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG329	分子生物学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	千葉 智樹, 中村 幸治, 坂本 和, 鶴田 文憲, 長沼 孝雄	分子生物学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG417	遺伝情報学セミナーAI	2	1.0	1	春AB	応談	研究室	桑山 秀一	遺伝する情報分子について, 現在明らかになっている問題と明らかになっていない問題について, 関連する文献の検索, 収集, 講読を通して理解させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG418	遺伝情報学セミナーAII	2	1.0	1	秋AB	応談	研究室	桑山 秀一	遺伝する情報分子について, 現在明らかになっている問題と明らかになっていない問題について, 関連する文献の検索, 収集, 講読を通して理解させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG419	遺伝情報学セミナーAIII	2	1.0	1	秋C	応談	研究室	桑山 秀一	遺伝する情報分子について, 現在明らかになっている問題と明らかになっていない問題について, 関連する文献の検索, 収集, 講読を通して理解させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG421	遺伝情報学セミナーBI	2	1.0	2	春AB	応談		桑山 秀一	遺伝する情報分子について, 現在明らかになっている問題について, 関連する文献の講読を通して, どのような実験を行って明らかにしてきたか, また, そのような実験や結果の評価の問題点を理解させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG422	遺伝情報学セミナーBII	2	1.0	2	秋AB	応談		桑山 秀一	遺伝する情報分子について, 現在明らかになっている問題について, 関連する文献の講読を通して, どのような実験を行って明らかにしてきたか, また, そのような実験や結果の評価の問題点を理解させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG423	遺伝情報学セミナーBIII	2	1.0	2	春C	応談		桑山 秀一	遺伝する情報分子について, 現在明らかになっている問題について, 関連する文献の講読を通して, どのような実験を行って明らかにしてきたか, また, そのような実験や結果の評価の問題点を理解させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG424	遺伝情報学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	桑山 秀一	真核生物を用いて, 発生・分化や形態形成の機構解明に必要な分子遺伝学的解析法, ゲノム生物学的解析法, 突然変異体の分離, 形質転換, 遺伝子操作などの技術を会得させ, 研究課題の設定や得られたデータの解釈, 研究の進め方を指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG425	遺伝情報学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	桑山 秀一	真核生物を用いて, 発生・分化や形態形成の機構解明に必要な分子遺伝学的解析法, ゲノム生物学的解析法, 突然変異体の分離, 形質転換, 遺伝子操作などの技術を会得させ, 研究課題の設定や得られたデータの解釈, 研究の進め方を指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG426	遺伝情報学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	桑山 秀一	真核生物を用いて, 発生・分化や形態形成の機構解明に必要な分子遺伝学的解析法, ゲノム生物学的解析法, 突然変異体の分離, 形質転換, 遺伝子操作などの技術を会得させ, 研究課題の設定や得られたデータの解釈, 研究の進め方を指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG427	遺伝情報学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	桑山 秀一	遺伝情報学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG428	遺伝情報学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	桑山 秀一	遺伝情報学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG429	遺伝情報学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	桑山 秀一	遺伝情報学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG517	植物代謝生理学セミナーAI	2	1.0	1	春AB	応談	研究室	白岩 善博, 鈴木 石根	植物代謝生理学・生化学・分子生物学およびその関連の研究領域における基礎的知見や関連する文献の収集とその講読を通して最新の研究情報を与え, 現状認識と将来展望について理解力を養う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AG518	植物代謝生理学セミナーAII	2	1.0	1	秋AB	応談	研究室	白岩 善博, 鈴木 石根	植物代謝生理学・生化学・分子生物学およびその関連の研究領域における基礎的知見や関連する文献の収集とその講読を通して最新の研究情報を与え、現状認識と将来展望について理解力を養う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG519	植物代謝生理学セミナーAIII	2	1.0	1	秋C	応談	研究室	白岩 善博, 鈴木 石根	植物代謝生理学・生化学・分子生物学およびその関連の研究領域における基礎的知見や関連する文献の収集とその講読を通して最新の研究情報を与え、現状認識と将来展望について理解力を養う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG521	植物代謝生理学セミナーBI	2	1.0	2	春AB	応談	研究室	白岩 善博, 鈴木 石根	植物代謝生理学・生化学・分子生物学およびその関連の研究領域における基礎的知見、測定原理および研究論文の紹介を通して問題意識を高め、正しい現状認識と将来展望について理解力を養う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG522	植物代謝生理学セミナーBII	2	1.0	2	秋AB	応談	研究室	白岩 善博, 鈴木 石根	植物代謝生理学・生化学・分子生物学およびその関連の研究領域における基礎的知見、測定原理および研究論文の紹介を通して問題意識を高め、正しい現状認識と将来展望について理解力を養う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG523	植物代謝生理学セミナーBIII	2	1.0	2	春C	応談	研究室	白岩 善博, 鈴木 石根	植物代謝生理学・生化学・分子生物学およびその関連の研究領域における基礎的知見、測定原理および研究論文の紹介を通して問題意識を高め、正しい現状認識と将来展望について理解力を養う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG524	植物代謝生理学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	白岩 善博, 鈴木 石根	植物代謝生理学および関連領域における研究上の諸問題の捉え方、研究材料の選定、現象解析法の理論と実際、機器分析法とその原理、データの解析法及び実験結果のまとめ方等を理解・体得させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG525	植物代謝生理学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	白岩 善博, 鈴木 石根	植物代謝生理学および関連領域における研究上の諸問題の捉え方、研究材料の選定、現象解析法の理論と実際、機器分析法とその原理、データの解析法及び実験結果のまとめ方等を理解・体得させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG526	植物代謝生理学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	白岩 善博, 鈴木 石根	植物代謝生理学および関連領域における研究上の諸問題の捉え方、研究材料の選定、現象解析法の理論と実際、機器分析法とその原理、データの解析法及び実験結果のまとめ方等を理解・体得させる。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG527	植物代謝生理学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	白岩 善博, 鈴木 石根	植物代謝生理学研究法AIに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG528	植物代謝生理学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	白岩 善博, 鈴木 石根	植物代謝生理学研究法AIに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG529	植物代謝生理学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	白岩 善博, 鈴木 石根	植物代謝生理学研究法AIに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業
01AG967	植物ゲノム学研究法AI	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	井澤 毅	イネを用いて植物ゲノム学に特有な実験・計画の立て方、技術の修得、および得られたデータの解析方法について、具体的な事例に基づき指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AG968	植物ゲノム学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	井澤 毅	イネを用いて植物ゲノム学に特有な実験・計画の立て方、技術の修得、および得られたデータの解析方法について、具体的な事例に基づき指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AG969	植物ゲノム学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	井澤 毅	イネを用いて植物ゲノム学に特有な実験・計画の立て方、技術の修得、および得られたデータの解析方法について、具体的な事例に基づき指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AG971	植物ゲノム学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	井澤 毅	植物ゲノム学研究法AIに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AG972	植物ゲノム学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	井澤 毅	植物ゲノム学研究法AIに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01AG973	植物ゲノム学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	井澤 毅	植物ゲノム学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AG984	植物遺伝生理学研究法A1	7	2.0	1	春AB	応談	研究室	小林 正智	逆遺伝学的な研究手法で用いられる個別のゲノムリソースの特徴を明らかにしつつ、リソースの探索・入手・解析手段を実地に指導する。また研究全体を通してゲノム情報の効率的な利用について解説、討論を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AG985	植物遺伝生理学研究法AII	7	2.0	1	秋AB	応談	研究室	小林 正智	逆遺伝学的な研究手法で用いられる個別のゲノムリソースの特徴を明らかにしつつ、リソースの探索・入手・解析手段を実地に指導する。また研究全体を通してゲノム情報の効率的な利用について解説、討論を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AG986	植物遺伝生理学研究法AIII	7	2.0	1	秋C	応談	研究室	小林 正智	逆遺伝学的な研究手法で用いられる個別のゲノムリソースの特徴を明らかにしつつ、リソースの探索・入手・解析手段を実地に指導する。また研究全体を通してゲノム情報の効率的な利用について解説、討論を行う。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AG987	植物遺伝生理学研究法BI	7	2.0	2	春AB	応談	研究室	小林 正智	植物遺伝生理学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AG988	植物遺伝生理学研究法BII	7	2.0	2	秋AB	応談	研究室	小林 正智	植物遺伝生理学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能
01AG989	植物遺伝生理学研究法BIII	7	2.0	2	春C	応談	研究室	小林 正智	植物遺伝生理学研究法Aに基づいた研究のまとめ方および修士論文作成の方法を具体的に指導する。	平成26年度以前の入学者のみ履修可 要望があれば英語で授業 連携大学院方式に関連する学生のみ受講可能